



YOXO アクセラレータープログラム 2019 採択スタートアップ

株式会社 CROSS SYNC が 2.8 億円の資金調達を実施 ～重症患者管理アプリケーションの社会実装に向け取組を本格化～

横浜市が YOXO アクセラレータープログラムなどにより支援してきた株式会社 CROSS SYNC（クロスシンク）が、同社の重症患者管理アプリケーションの開発を目的に、株式会社アイティーファーム、株式会社日本政策投資銀行、株式会社アルム、横浜キャピタル株式会社から総額 2.8 億円の資金調達を実施しました。これにより同社は、横浜市立大学附属病院との実装研究など、事業化に向けた取組を加速していきます。

横浜市は、横浜市中期計画 2022～2025 において「支援したスタートアップが受ける投資額（4 か年 170 億円）」を政策指標として、『スタートアップの創出・イノベーションの推進』に取り組んでいます。引続き、スタートアップ成長支援拠点『YOXO BOX(よくぞボックス)』を中核に、国内外から人・企業・投資を呼び込み、持続的な横浜経済の発展に繋げていきます。

1 「重症患者管理アプリケーション」及び実装研究について

●重症患者管理アプリケーションについて

ICU（集中治療室）患者のバイタルサインや映像等情報を外部機器から収集し、独自技術で加工・ビジュアル化することで、医師の持つスマートフォンから、「いつでも、どこでも」患者の情報をモニタリングできるシステムです。病棟レベル、患者レベルでの状況把握や質の高い情報共有を促進し、急性期医療における医療安全の向上に寄与します。

●実装研究について

「医療安全と質の改善」「現場医療と遠隔 ICU スタッフの負担軽減」を目的に、令和 4 年 12 月から横浜市立大学附属病院で実施。ユーザー（医師・看護師）を対象としたユーザビリティ調査及び他の医療機器とのデータ連携に関するヒアリング調査を行いました。この結果をもとに、今後システムの UI 改善等に繋げていきます。



アプリケーションのイメージ

2 資金調達について

株式会社アイティーファーム、株式会社日本政策投資銀行、株式会社アルム（DeNA グループ）、横浜キャピタル株式会社（横浜銀行グループ）らを引受先とする第三者割当増資により総額 2.8 億円の資金調達を実施しました。

3 株式会社 CROSS SYNC について

2019 年創業。AI を活用した画像解析等により高度な患者モニタリングや情報共有を行う重症患者管理アプリケーションの研究開発および実用化を展開。横浜市立大学発認定ベンチャー。

株式会社 CROSS SYNC

（横浜市金沢区/西区）

代表取締役/医師

高木 俊介氏

<https://cross-sync.co.jp/>



【代表者コメント】横浜市の支援プログラムを受けながら初回の資金調達を実施し、開発実証を現場で重ねてきた結果、今回の資金調達に繋がりました。この調達資金は今後、上市を目指すシステムの開発費用と画像解析・時系列解析研究の費用に充てる予定です。CROSS SYNC は投資を入れていただいた事業会社との事業連携もしながら、「医療の今を変える」というコンセプトのもと、急性期医療現場における急変を未然に防ぐ仕組みを作っていきます。

同社に対する横浜市による主な支援について

◆YOXO アクセラレータープログラム（2019 年度参加）

スタートアップのビジネスの成長・発展に向けた、専門家によるメンタリングや事業会社とのマッチング(2020 年度以降)、セミナー、ベンチャーキャピタル等に向けた成果発表会、事業 PR のサポートなどを実施するアクセラレータープログラム。

◆横浜ベンチャーピッチ（2020 年度参加）

事業の拡大を目指すスタートアップをプレゼンターとし、ベンチャーキャピタルや金融機関、事業会社等のビジネスパートナーを発掘するプレゼンテーション会。

◆The Springboard™ Program in Yokohama（2020 年度参加）

米国サンディエゴの起業家支援組織と連携し、健康・医療分野の中小企業・スタートアップを育成・支援するアクセラレーションプログラム。ベンチャーキャピタル出身者や元バイオ系企業経営者によるメンタリングや、専門家・コーディネーターによる伴走支援・ファシリテーション、デモデイなどを実施。

スタートアップの創出・イノベーションの推進／YOXO BOX 事業の取組

横浜市は、新たなイノベーションを横浜から創出していくため、ロゴマーク YOXO（よくぞ）を旗印として、これまでに、みなとみらい地区の研究開発拠点をはじめ、様々な企業や大学等と連携して、イノベーション人材の交流機会を形成しています。

関内の横浜市スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX（よくぞボックス）」では、ビジネスモデルのブラッシュアップや事業会社とのマッチング、投資家等による資金調達などスタートアップの成長・発展に向けて、各種プログラムを実施しています。



■YOXO BOX 概要

- ・名称：横浜市スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX（よくぞボックス）」
- ・住所：横浜市中区尾上町一丁目 6 番 ICON 関内 1 階（旧市庁舎向かい）
- ・営業時間：平日 10：00～18：00
- ・Web サイト：<https://socialport-y.city.yokohama.lg.jp/yoxo-box/>

お問合せ先

（YOXO BOX におけるスタートアップ支援について）

経済局スタートアップ・イノベーション推進室新産業創造課長 大橋 直之 Tel 045-671-3913

（株式会社 CROSS SYNC 及び資金調達について）

株式会社 CROSS SYNC 広報担当 竹田 美希 E-mail takeda@cross-sync.co.jp

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。